

## 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種説明書

接種を希望する方は、接種前に以下の説明を読んでから接種をお受けください。

### 【肺炎球菌性肺炎とは】

成人肺炎の 25～40%を占め、特に高齢者での重篤化が問題になっています。中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎の原因となることもあります。

### 【肺炎球菌ワクチン予防接種とは】

高齢者の肺炎の原因で最も多いのは、「肺炎球菌」という細菌です。肺炎球菌には、80 種類以上の型があります。肺炎球菌ワクチン接種により、そのうち 23 種類に対して免疫をつけることができ、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぎます。ただし、すべての肺炎を予防するものではありません。

### 【公費負担接種対象者】

- ① 65 歳の方で、過去に高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種をしたことが無い方
- ② 60 歳以上 65 歳未満で、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある方で、過去に高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種をしたことが無い方

### 【接種回数・方法】

接種回数は 1 回です。筋肉内または皮下に注射します。

### 【他のワクチンとの同時接種】

医師が必要と認めた場合には他のワクチンと同時に接種することができます。

### 【接種が不適当な方（予防接種を受けることが適当でない方）】

1. 明らかな発熱を呈している方
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
3. 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
4. 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

### 【接種要注意者（接種の判断を行うに際し、注意を要する方）】

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな方
2. 予防接種で接種後 2 日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
3. 過去にけいれんの既往のある方
4. 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
5. 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

## 【接種後の注意】

1. 接種当日は激しい運動を避けてください。（接種当日の入浴は差し支えありません。ただし注射したところをこすらないでください。）
2. 接種後に発熱したり、接種した部位が腫れたり、赤くなったりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常、数日中に消失します。
3. 接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診療を受けてください。

## 【副反応】

局所の疼痛、熱感、腫脹、発赤、筋肉痛、倦怠感、違和感、悪寒、頭痛、発熱などがみられることがあります。通常2～3日で治まります。

重い副反応がおこることがありますので、以下のような症状がみられた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

### ＜アナフィラキシー様反応＞

息苦しくなる、顔面が蒼白になる、じんましん、冷や汗が出る

### ＜血小板減少＞

出血しやすい(歯ぐきの出血、鼻血など)、出血が止まりにくい

### ＜知覚異常、ギランバレー症候群等の急性神経根障害＞

刺激によるピリピリする感じ、手足の筋肉に力が入らない

### ＜蜂巣炎・蜂巣炎様反応＞

注射した部分が赤くなる、はれる、痛む、発熱

## 【注射の前に確認すること】

次のような人は注射の前に医師に申し出てください。

- ・ 以前に薬を飲んで、または注射を受けて発しんやかゆみなどが出たことがある。
- ・ 以前にこのワクチンなどの肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある。
- ・ 病気を放射線治療や免疫を抑える薬で治療中、または間もなくそのような治療を受ける。
- ・ 明らかな発熱がみとめられる。
- ・ 敗血症、腎盂腎炎などの重い急性の病気にかかっている。
- ・ 以前にこのワクチンや他のワクチンで発しんが出る、呼吸困難になる、冷や汗が出る、顔色が蒼白になるといった症状が出たことがある。
- ・ 心臓、腎臓、肝臓あるいは血液などの病気にかかっている。
- ・ 以前にけいれんを起こしたことがある。
- ・ 他にもからだの異常を感じたら、医師に相談してください。

## 【予防接種健康被害救済制度について】

万が一、副作用が発生した場合は、健康被害の内容や程度に応じて予防接種に基づく健康被害救済制度の対象となる場合があります。

接種にあたりご不明な点等ありましたら、健康づくり課までお問い合わせください  
函南町役場健康づくり課 ☎055-978-7100